

第5回香川県ダム検証に係る検討委員会 議事要旨

日時：平成26年11月10日（月）10:00～12:00

場所：香川県社会福祉総合センター7階 第1中会議室

【出席者】

白木委員長、石塚委員、井原委員、角道委員、工藤委員、森委員、好井委員、藤井東かがわ市長、佐藤坂出市建設課長（坂出市長代理）、山崎丸亀市建設水道部副主幹（丸亀市長代理）、前田綾川町副町長（綾川町長代理）、小野香川県土木部長、大西香川県長尾土木事務所長、樋口香川県中讃土木事務所長

【議事概要】

- ・事務局からダム検証に係る検討の経緯及び進め方について説明を行った。
- ・事務局から検証対象ダム（五名ダム再開発、綾川ダム群）の概要について説明を行った。

○主な意見

学識経験者

- ・治水安全度が流域によって異なっていることについて議論が必要。
- ・香川県にとって自己水源の確保は重要な問題であり、県独自の評価軸も必要。
- ・新規利水の必要性についてきちんとした説明が必要。
- ・希少種の存在について確認しておくこと。
- ・目的、方策、目標といった言葉や様々な評価軸があり、複雑で分かりづらく、また専門用語が多用されているため、分かりやすく表現する工夫が必要。

関係地方公共団体

<五名ダム再開発>

- ・東かがわ市

：湊川は東讃地区を代表する河川でありながら、東讃にあるダムの中で容量が一番小さい。平成16年の台風23号では、ダムを越えて下流に大きな被害が発生した。この地区は非常に洪水被害を受けやすい地域であり、河川規模に見合った能力のダム整備を望む。

<綾川ダム群>

- ・綾川町、丸亀市、坂出市

：平成16年の台風23号では大きな被害を受けた。河川改修と併せてダムの再開発事業もお願いしたい。